

「庄内神楽祭り 郷土芸能部 書道部 地域参加及びボランティア活動」

町内12座 勇壮に、華麗に

庄内町で神楽祭り、ふるさと祭り

2019.11.4(月)
朝 P14

町内の12座が出演し、勇壮な舞を披露した
11月3日、由布市庄内町の庄内総合運動公園



第30回庄内神楽祭り(大分合同新聞社後援)が3日、由布市庄内町の庄内総合運動公園神楽殿であった。30回を記念し、約10年ぶりに町内の12座が全てそろった。第38回市庄内町ふるさと祭りも同時開催し、終日にぎわった。会場は神楽を題材にした

園児の塗り絵などで彩られ、祭りムードを演出。秋晴れの下、朝から大勢の来場者が詰め掛けた。

由布高書道部のパフォーマンスで開幕。12座や地元保育園、由布高郷土芸能部などが次々と出演。「五方礼始」や「貴見城」などの演目を舞った。勇壮な舞や激しい太鼓の音色に大きな拍手が送られていた。

ふるさと祭り会場には飲食や特産品販売など約40のブースが並んだ。来場者は手作りの団子汁やそばなどを食べながら多彩なステージイベントを楽しんだ。

消費税増税後の負担軽減などを目的に経済産業省が推進する「キャッシュレス・ポイント還元事業」のPRブースもあった。決済の種類や使い方など、消費者の疑問に丁寧に答えた。



由布高校郷土芸能部だけではなく書道部のパフォーマンスや由布高扇子の販売実習も行われた。

書道部は、地域の方の協力を得ての演技を行い、扇子は新聞を見た多くの地域の人々が買い求めているとともに、県外の方々にも好評であった。